

楽しみながらの 試行錯誤

普段の仕事や生活のなかに、AIを少しずつ取り込もうと意識されている方々にお話を伺ったなかでの感想です。日々目覚ましい進化を続けている最中のものであり、活用方法や捉え方は私たち次第。そのような不確定な状況においても創意工夫をくり返すことで、何かが変わる実感をもち、AIに対する人それぞれの解釈が生まれていくように感じました。おそらくこの特集自体も、あくまで「今」の仮説を切り取ったに過ぎないものになってしまうかもしれません。だからこそ、AIを通して何ができるのか?という具体的なアプローチのみに留まるのではなく、人それぞれの解釈を「AI観」と表現し、「私たちはどうあるべきなのか」「教育の現場ではどう向き合っていくか」と、少し抽象度を上げた思考を試みました。もし宜しければ、本特集内の事例やキーワードを題材に、皆さまの学校内でも気軽にディスカッションをしていただく機会となれば幸いです。

